

大分県津久見地域の秩父累帯南帯の中生層

松岡 篤*

Mesozoic strata of the Southern Chichibu Terrane in the Tsukumi area,
Oita Prefecture

Atsushi MATSUOKA*

Abstract Mesozoic strata of the Southern Chichibu Terrane in the Tsukumi area are divided into four geologic units, namely the Shakumasan Group (? Middle Triassic-lower Upper Jurassic), the Kannonsaki Formation (Middle Jurassic), the Tsui Formation (Upper Jurassic) and the Yukagi Formation (? Lower Cretaceous). They are in fault contact with each other. The geologic structure of the terrane in the study area is generally characterized by ENE-WSW strike with steep northward dipping of strata and fault planes of major faults. The Shakumasan Group, the Tsui Formation and the Yukagi Formation are correlated with the Togano Group, the Torinosu Group and the Bandagamori Formation (= Sambosan Formation (s.s.)) in the Sakawa area, Kochi Prefecture, respectively.

はじめに

津久見地域(Fig. 1)は九州における秩父累帯の東端部に位置する。複雑にいりくんだ海岸線に沿って基盤岩類がよく露出し、地層の観察に適した地域である。当地域の地質に関しては、藤井(1954a, b), 橋本(1962, 1977), 神戸・寺岡(1968), 鹿島(1971), MURATA(1981)などの研究がある。また最近では放散虫化石を用いた検討もなされている(西・坂井, 1985; 吉田, 1985; 吉田・村田, 1985)。

筆者は高知県西部佐川地域(Fig. 1)の主として秩父累帯南帯(以下南帯と略す)の地質学的研究に従事してきたが、他地域の南帯の地質との比較を行うために、数年前に津久見地域の調査を開始した。調査結果の一部は松岡(1984b)に述べられている。その後、野外調査を続けるとともに、放散虫化石による生層序学的な検討を行い、当地域の地層区分および各地層の年代に関し、一応の結果を得た。それについては、MATSU-

OKA(1986 MS)に述べられている。小論ではそのうち、地層の分布、岩相、年代について簡単に報告し、佐川地域の地質系統との対応について述べる。なお、中・上部ジュラ系の放散虫生層序区分に関しては、MATSUOKA & YAO (in press)を適用する。

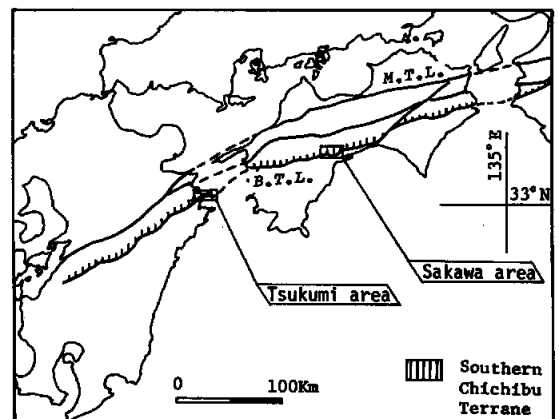


Fig. 1. Index map.

M.T.L.: Median Tectonic Line,
B.T.L.: Butsuzo Tectonic Line.

*大阪市立大学理学部地学教室, Department of Geosciences,
Faculty of Science, Osaka City University, Osaka 558, Japan.

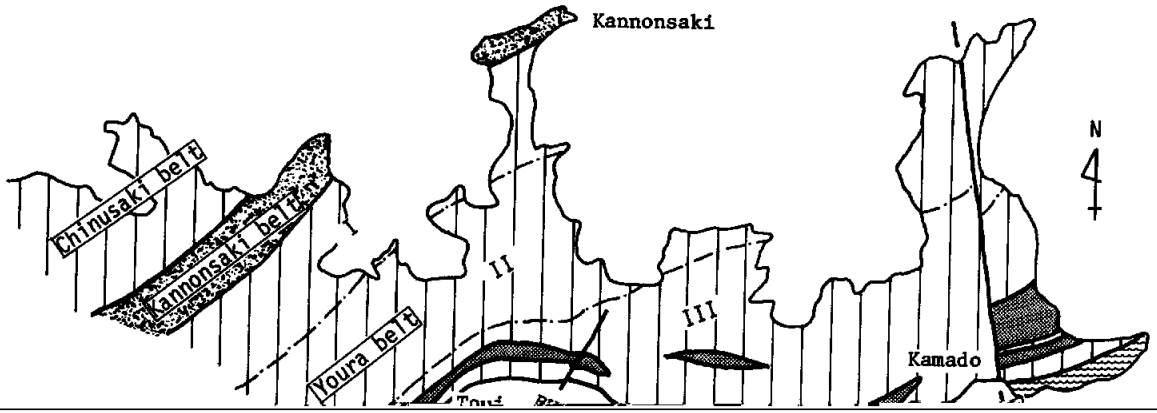


Table 1. Table showing the stratigraphic succession in the Tsukumi area.

RADIOLARIAN ZONE		SOUTHERN CHICHIBU TERRANE					
		Chinusaki belt	Kannon-saki belt	Youra belt			Nakano belt
CRET.	Early(part)			I	II	III	Yukagi Formation ?
	JURASSIC	Late	<i>Pseudodictyomitra primitiva</i>				
		<i>Cinguloturris carpatica</i>					
		<i>Stylocapsa(?) spiralis</i>					Tsui Formation
Middle		<i>Tricolocapsa conexa</i>					
		<i>Tricolocapsa plicarum</i>		Kannon-saki Formation			
TRIASSIC	Early			Shakumasan Group			
	Late						
	Middle						
	E						

層序をもつ(Fig. 3). このことから尺間山層群は、斗賀
 山層群に對比せられた。――砂岩層――

に若くなる。シーケンスの最上部をなす粗粒碎屑岩
 層は、四連層 I から四連層 III までを年代計

1968), 本層群の年代の根拠とされていたが, これらの石灰岩はジュラ紀の粗粒砕屑岩中に挟まれるオリストリスである。佐藤ほか (1982) が報告したペルム紀チャートもオリストリスとして含まれている可能性が高い。

観音崎層

観音崎層は観音崎帯を占める。本層はオリストストロームからなる。オリストリスとしては, 種々の大きさのチャート, 砂岩, 石灰岩, 緑色岩類などを含むが, 量的にはチャートと砂岩が卓越する。オリストストロームの基質は泥質である。本層に含まれるチャートからはペルム紀のコノドント化石が報告されていた (MURATA, 1981) が, 今回同じくチャートからペルム紀の放散虫化石が得られた。基質をなす泥質岩からは, *Tricolocapsa plicarum* 帯上部を示す放散虫化石が数地点から得られている。観音崎層は, 南北に隣接して分布する尺間山層群の珪質泥岩層上部, 粗粒砕屑岩層と同じ化石帯を含み, 年代的にはジュラ紀中世中頃に形成されたと考えられる。

津井層

津井層は四浦帯の南部に, 調査地域の西部では1帯, 東部では2ないし3帯にわかれて分布する。本層は泥岩, 砂岩, 礫岩からなり, 鳥巢式石灰岩を伴う。石灰岩, 砕屑岩の両方から鳥巢動物群を特徴づける化石が報告され (橋本, 1977), 本層は岩相・生相から鳥巢層群に対比される。本層の数地点の泥岩よりジュラ紀新世 (*Stylocapsa* (?) *spiralis* 帯上部 ~ *Cinguloturris carpatica* 帯) を示す化石が得られている。

床木層

床木層は中野帯に分布する。本層はオリストストロームからなる。オリストリスとしては種々の大きさの石灰岩, 緑色岩類, チャートなどが含まれる。基質は泥質である。本層は岩相および分布上の位置から判断して, 高知県西部の**ほんだ**の蟠蛇ヶ森層 (= 狭義の三宝山層) に

おわりに

津久見地域と佐川地域の秩父累帯南帯に分布する地質体を通覧すると, 両地域はともに岩相的に明瞭に区別される3タイプの地質体から構成されていることがわかる。その3タイプは, チャート-砕屑岩シーケンスからなる地層 (尺間山層群, 斗賀野層群), オリストストロームからなる地層 (観音崎層, 床木層, 蟠蛇ヶ森層), 鳥巢式石灰岩を伴い, 砕屑岩層からなる地層 (津井層, 鳥巢層群) である。前章で述べたように, 尺間山層群, 津井層, 床木層はそれぞれ, 斗賀野層群, 鳥巢層群, 蟠蛇ヶ森層 (= 狭義の三宝山層) に対比される。佐川地域の南帯には, 観音崎層のような南北両側をチャート-砕屑岩シーケンスに挟まれるオリストストローム層は知られていない。

小論をまとめるにあたり, 大阪市立大学理学部市川浩一郎教授には原稿を読んでいただいた。心から謝意を表する。

文 献

- 藤井浩二, 1954 a : 大分県臼杵地域の層序と構造(1), 地質雑, 60, 413-427.
 ———, 1954 b : 大分県臼杵地域の層序と構造(2), 同上, 60, 494-500.
 橋本 勇, 1962 : 大分県佐伯市付近の時代未詳層群の層序と構造(1), 九大教養地学研報, 9, 1-12.
 ———, 1977 : 九州東部秩父累帯の津井・尺間山・床木3層について, 九大理研報, 12, 157-163.
 神戸信和・寺岡易司, 1968 : 5万分の1地質図幅「臼杵」および同説明書, 地質調査所, 63 P.
 鹿島愛彦, 1971 : 九州の仏像構造線についての二, 三の知見, 愛媛大学紀要 [自然化学D], 6, (4), 81-92.
 岸田容司郎・菅野耕三, 1982 : 西南日本外帯における三疊紀・ジュラ紀放散虫化石分帯, 大阪微化石研究会誌特別号, No. 5, 271-300.
 松岡 肇, 1984 a : 高知県西部秩父累帯南帯の斗賀野層群

西 琢郎・坂井 卓, 1985: 大分県四浦半島の層序. 日本地質学会第92年学術大会講演要旨, 146.

佐藤 徹・西園幸久・村田正文, 1982: 大分県東部尺間山周辺の中・古生代放散虫化石群集について, 大阪微化石研究会誌特別号, No. 5, 301-310.

吉田英一, 1985: 大分県佐伯市北東部における三宝山帯の層序の再検討および仏像線. 日本地質学会第92年学術大会講演要旨, 147.

———・村田正文, 1985: 大分県佐伯市北東部における二疊紀放散虫化石層序. 地質雑, 91, 525-533.
